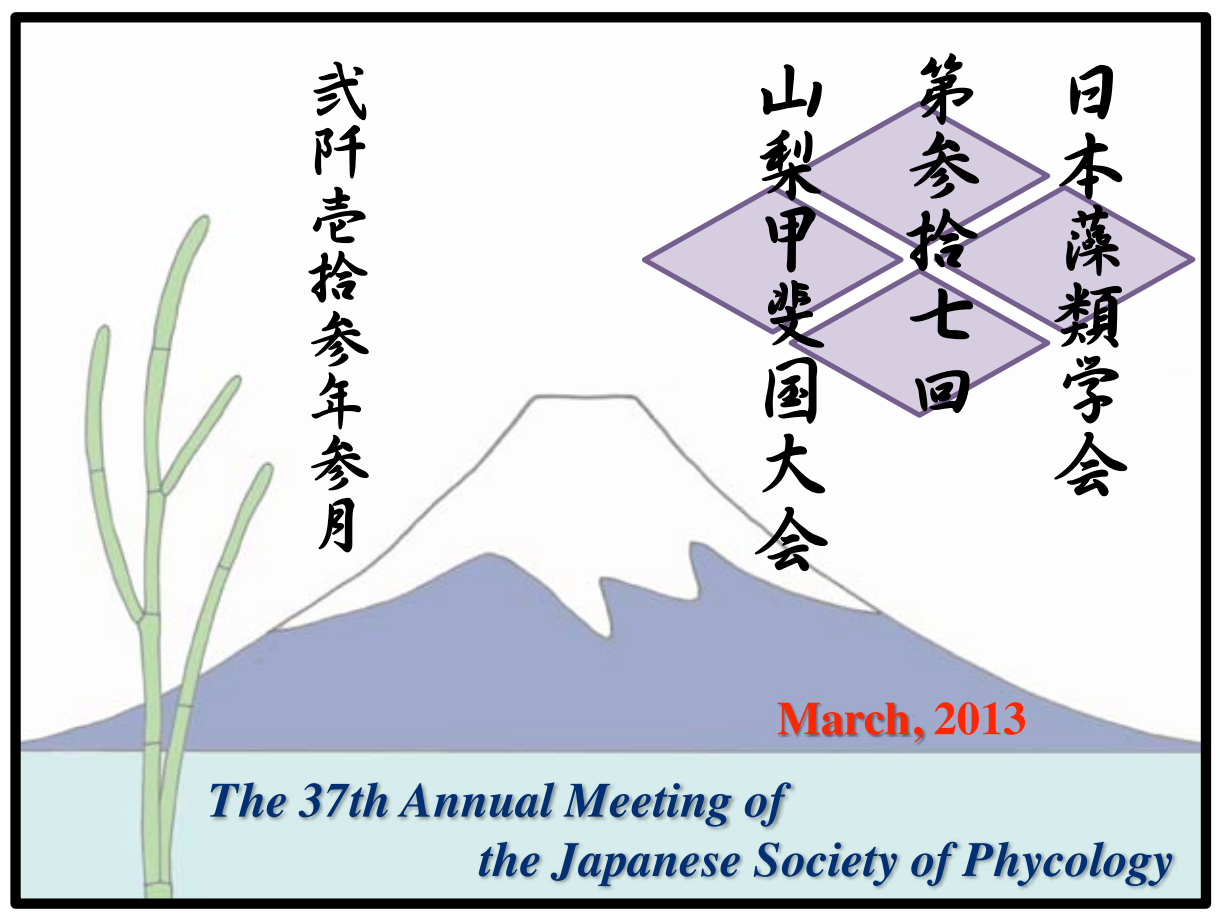


# 日本藻類学会第 37 回大会 山梨 2013



学会会長 田中 次郎

山梨大学 甲府西キャンパス

(〒 400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37)

2013 年 3 月 27 日 (水) ~ 29 日 (金)

# 1. 会場までの交通・宿泊

## (1) 会場までの交通

大会会場の山梨大学甲府西キャンパスまでは、JR 甲府駅北口から徒歩で約 15 分、またはバスで約 5 分（甲府駅北口 2 番のりば 10, 11, 12, 13 系、武田神社 / 積翠寺行き（表 1）、山梨大学バス停車（図 1）、100 円）です。なお、武田神社まではバスで甲府駅より 10 分程度、山梨大学より 5 分程度です。バス運行については「やまなしバスコンシェルジュ」をご利用ください（PC：http://busmaps.jp/yamanashi/、携帯：http://m.busmaps.jp/）。

JR 甲府駅までは、新宿より JR 中央線特急「あずさ」（松本行き）又は「かいじ」（甲府行き）で約 90 分。バスでは新宿駅西口高速バスターミナルより最速 119 分。名古屋より JR 中央線（塩尻駅経由）/ 塩尻駅で特急「しなの」から特急「あずさ」に乗り換え、最速 181 分。または、東海道新幹線、JR 身延線（静岡駅経由）/ 静岡駅で「ひかり」から特急「ふじかわ」に乗り換え、最速 195 分。バスでは JR 名古屋駅前バスセンターより約 240 分です。

## (2) 宿泊

大会では特に斡旋しませんが、近隣に温泉施設が多く、ビジネスホテルでも温泉付きもありますので、山梨の温泉を是非ご堪能下さい。

表 1 甲府駅—山梨大学のバス時刻表

甲府駅北口2番のりば時刻表 (武田神社方面)			山梨大学時刻表 (甲府駅北口方面)		
系統番号・行き先	通過時刻		系統番号・行き先	通過時刻	
11 武田神社	7:25		12 伊勢町営業所	11:04	
12 積翠寺	7:30		11 甲府駅北口	11:34	
13 積翠寺	7:50		11 甲府駅北口	12:04	
10 武田神社	8:00		10 伊勢町営業所	12:34	
12 積翠寺	8:15		10 伊勢町営業所	13:04	
11 武田神社	8:35		10 伊勢町営業所	13:34	
11 武田神社	9:05		11 甲府駅北口	14:04	
10 武田神社	9:35		10 伊勢町営業所	14:34	
10 武田神社	10:00		12 伊勢町営業所	15:04	
13 積翠寺	10:30		11 甲府駅北口	15:34	
11 武田神社	11:00		11 甲府駅北口	16:04	
10 武田神社	11:30		10 伊勢町営業所	16:34	
11 武田神社	12:00		10 伊勢町営業所	17:04	
11 武田神社	12:30		11 甲府駅北口	17:24	
10 武田神社	13:00		10 伊勢町営業所	17:49	
10 武田神社	13:30		12 伊勢町営業所	18:04	
11 武田神社	14:00		10 伊勢町営業所	18:34	
13 積翠寺	14:30		12 伊勢町営業所	18:49	
10 武田神社	15:00		10 伊勢町営業所	19:04	
11 武田神社	15:30		12 伊勢町営業所	19:24	
11 武田神社	16:00		11 甲府駅北口	19:55	
10 武田神社	16:30		10 伊勢町営業所	20:20	
10 武田神社	17:00		10 伊勢町営業所	21:09	

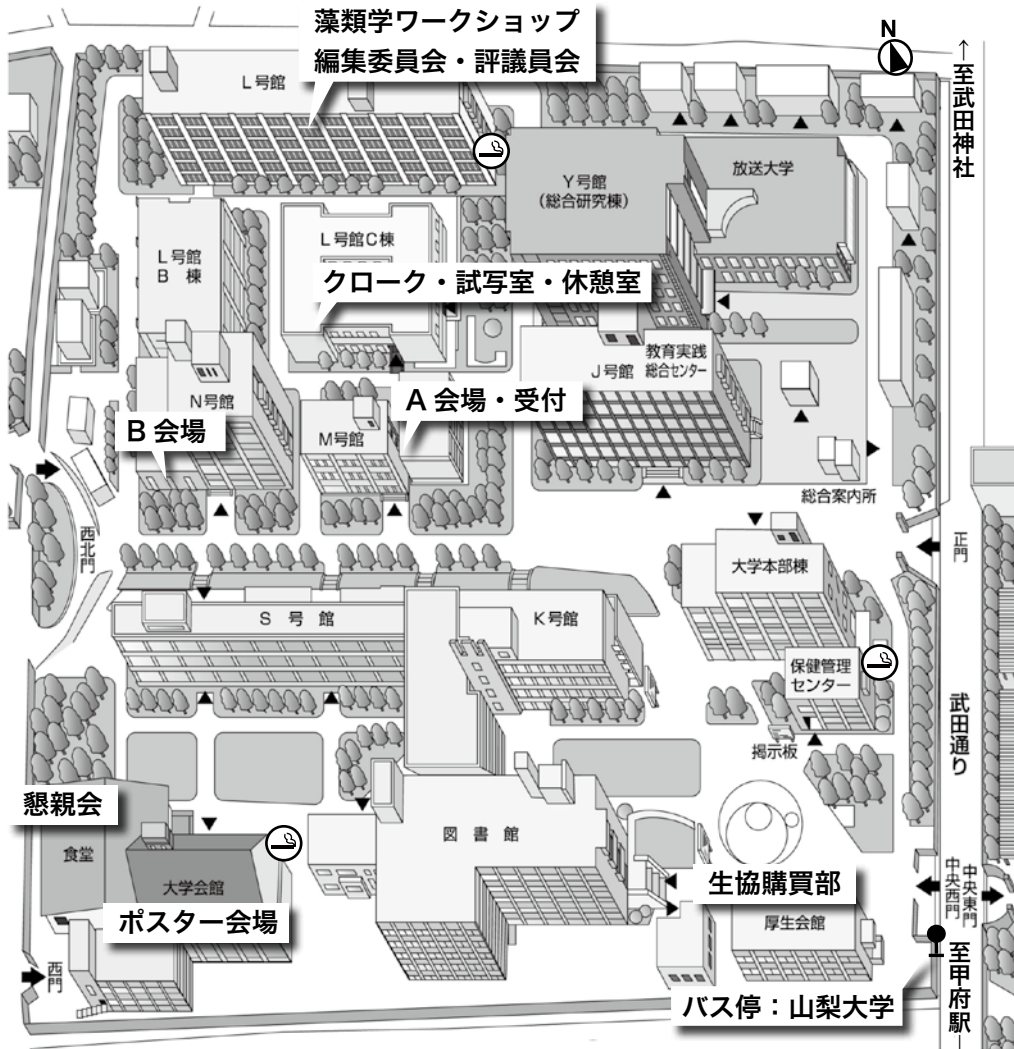


図 1 大会会場（山梨大学甲府西キャンパス）

## 2. 会場 山梨大学甲府西キャンパス (図 1, 2)

編集委員会・評議員会：L号館 237室 (控え室：L号館 234室)

口頭発表会場：A会場 (M号館 12教室), B会場 (N号館 11教室)

ポスター発表会場：大学会館 多目的ホール・ラウンジ

総会：A会場 (M号館 12教室)

受付：M号館

休憩室・クローク・試写室：L号館 C棟

懇親会：大学会館 食堂

藻類学ワークショップI：L号館 232室

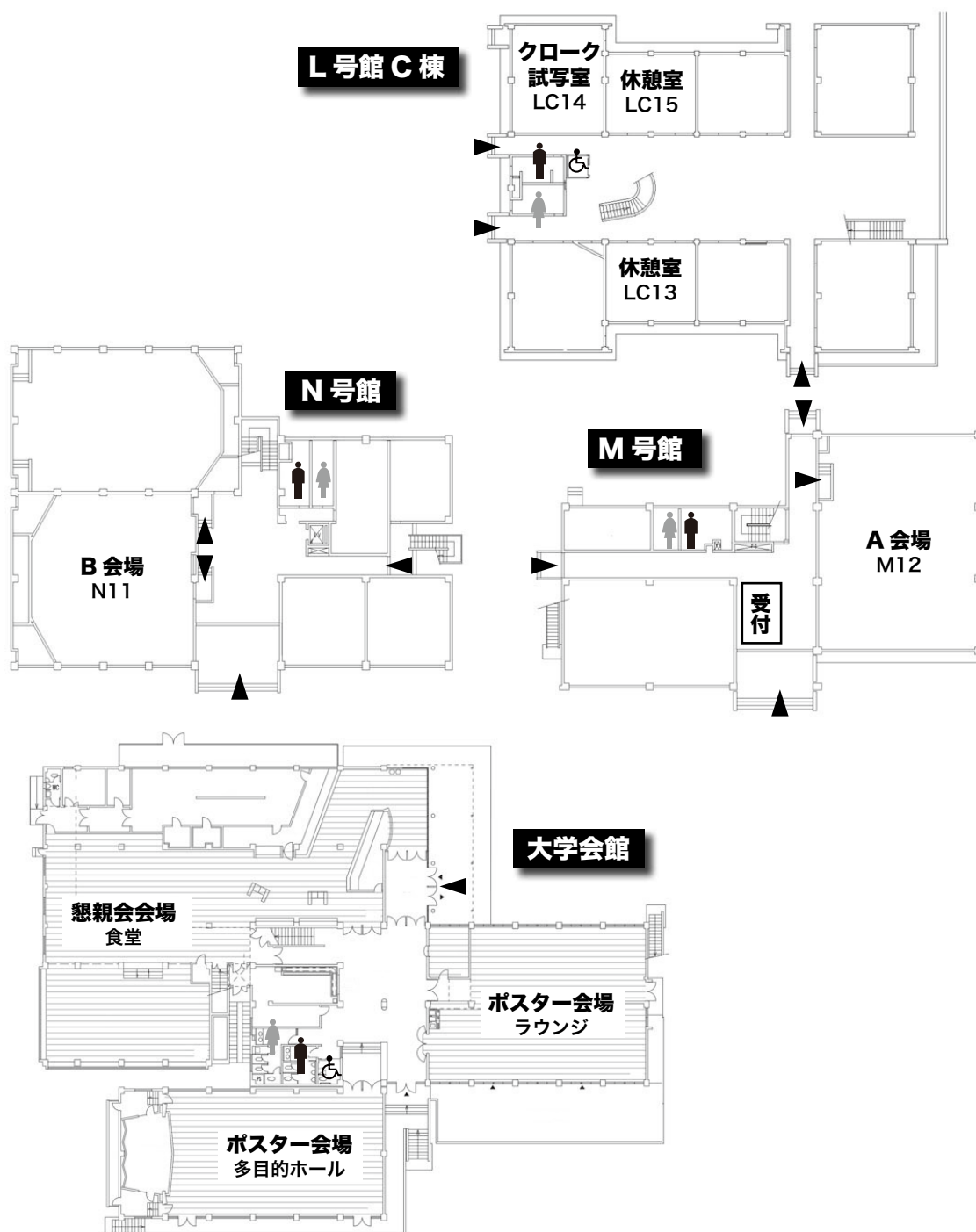


図 2 発表会場等の配置図

### 3. 日程

2013年3月27日(水)

- 12:00-15:00 藻類学ワークショップI (L号館 232室)
- 15:00-16:30 編集委員会 (L号館 237室)
- 16:30-18:00 評議員会 (L号館 237室)

2013年3月28日(木)

- 9:00-12:30 口頭発表 (A, B会場)
- 13:30-15:45 口頭発表 (A, B会場)
- 16:00-17:00 総会 (A会場)
- 17:15-18:15 ポスター発表 (奇数番号) (大学会館 多目的ホール・ラウンジ)
- 18:30-20:00 懇親会 (大学会館 食堂)

2013年3月29日(金)

- 9:00-11:15 口頭発表 (A, B会場)
- 11:30-12:30 ポスター発表 (偶数番号) (大学会館 多目的ホール・ラウンジ)
- 14:00-18:00 エクスカーション

※大会期間中、大学構内の食堂・購買(図1)が以下のように開店しています。また、お弁当をご持参の方は休憩室や食堂などでお召し上がりいただけます。

大学会館 食堂：3月27～29日(水～金) 11:30-13:30

厚生会館 生協購買部：3月27～29日(水～金) 10:30-15:00

### 4. 参加受付 (M号館, 図2)

受付時間：3月28日(木) 8:30-17:00  
3月29日(金) 8:45-11:15

当日参加を受け付けます。参加申込票はできるだけ1週間前までにメールでご送付下さい(宛先：jzp2013.yamanashi@gmail.com, 参加申込票は <http://sourui.org/taikai-37/taikai-37.html> からダウンロードできます)。大会参加費：6,000円(学生4,000円)、懇親会費：6,000円(学生4,000円)を当日受付でお支払い下さい。

### 5. クローク (L号館C棟, 図2)

以下の時間に荷物をお預かりします。

3月28日(木) 8:30-18:15  
3月29日(金) 8:30-13:00

### 6. 編集委員会・評議員会

編集委員会：3月27日(水) 15:00-16:30

評議員会：同 16:30-18:00

会場：L号館237室(控え室：L号館234室)(図1参照)

### 7. 大会エクスカーション

3月29日(金)の昼食後にエクスカーションを企画します(有料)。山梨のワイナリーを巡って、山梨ワインをご堪能下さい。ぶどうの丘では同じ敷地内に日帰り温泉「天空の湯」があり、ご利用できます。

14:00 山梨大学発～勝沼エリア～ぶどうの丘～18:00 甲府駅着(山梨大学)

<http://budounooka.com/hpgen/HPB/entries/1.html>

参加費：4,000円(バス・施設入場料等)、事前予約・納入制

予約先：御園生 拓, TEL&FAX: 055-220-8213, E-mail: misonou@yamanashi.ac.jp

入金だけでなく、必ず、御園生まで予約の連絡をお願いします。

### 8. 藻類学ワークショップ(学会員対象・事前予約制)

世話人：河地 正伸(国立環境研究所)

問い合わせ先：E-mail: 2013.jsp.workshop@gmail.com, TEL: 029-850-2345

#### 1) ワークショップI「藻類イラスト講座」

内容：各自パソコンを持ち込んで頂いて、Adobe Illustrator や Photoshop 等を使って、藻類や関連するイラストを作成するための講習を行って頂きます。

日時：2013年3月27日(水) 12:00-15:00

会場：山梨大学甲府西キャンパス L 号館 232 室 (図 1 参照)

講師：中山 剛 (筑波大学), 内田 博子 (神戸大学)

参加費：3,000 円 (テキスト代込, 当日に徴収)

## 2) ワークショップ II 「シャジクモの採取・観察同定会」

参加希望者の数が少ないため, 取り止めまたは延期とさせていただきます。延期の場合は後日改めてアナウンスさせていただきます。

## 9. 発表形式

### (1) 口頭発表

時間：発表 12 分, 質疑応答 3 分です (1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 3 鈴 15 分)。

機器：発表者のパソコンにつないだ液晶プロジェクター (スクリーン 1 枚) で発表していただきます。各自でパソコンをご持参下さい。

- ・パソコンは切換器のミニ Dsub15 ピン外部出力コネクタを介して, 液晶プロジェクターと接続されます。多くのパソコンはこのコネクタで接続できますが, アップル製のように特殊な接続アダプタやケーブルが必要な場合は各自でご用意下さい。
- ・パソコンのバッテリーだけでは液晶プロジェクターに出力できない場合がありますので, 必ず電源ケーブルをご用意下さい。
- ・万一に備え, 発表用ファイルをコピーした USB メモリをお持ち下さい。発表用ファイルに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は, そのデータも USB メモリに保存して下さい。
- ・ご自分のパソコンをご用意できない方は, 事前に大会準備委員会にご相談下さい。

次演者の待機：次演者は次演者席でパソコンに電源をとり, OS を立ち上げ待機して下さい。

事前の動作確認：事前の動作確認を会場内の試写室 (L 号館 C 棟 14 室) で行うことができます (図 2)。

### (2) ポスター発表

サイズ：ポスター用のパネルの大きさは, 縦 180 cm, 横 90 cm です。

貼付用具：ピンを大会準備委員会で準備します。

必要記載事項：ポスターの上部に発表番号, 表題, 氏名 (所属) を記して下さい。

構成：目的, 方法, 結果, 考察, 結論について, それぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。

写真・図表：それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ：少し離れた場所からも判読できるようご配慮下さい。

掲示時間：3 月 28 日 (木) 9:00 から掲示できます。発表終了後, 3 月 29 日 (金) 13:00 までには取りはずして下さい。

## 10. 問い合わせ先

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

山梨大学教育人間科学部科学文化教育講座

日本藻類学会第 37 回山梨大会準備委員会 芹澤 如比古

TEL&FAX: 055-220-8212, E-mail: yserisawa@yamanashi.ac.jp

## 11. 日本藻類学会第 37 回大会準備委員会

御園生 拓, 芹澤 如比古, 芹澤 (松山) 和世, 五味 直哉, 牧田 篤弥, 米谷 雅俊, 渡邊 広樹

# 日本藻類学会第 37 回大会講演プログラム

## 3月28日(木) 午前の部

A 会場 (M12)		B 会場 (N11)	
9:00	<b>A01</b> 富士北麓、精進湖で発見されたフジマリモ (緑藻, シオグサ目) の特徴 ○芹澤 (松山) 和世・白澤 直敏 <sup>1</sup> ・金原 昂平 <sup>1</sup> ・渡邊 広樹 <sup>2</sup> ・米谷 雅俊 <sup>2</sup> ・牧田 篤弥 <sup>2</sup> ・芹澤 如比古 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 山梨大・教育, <sup>2</sup> 山梨大・院・教育)	<b>B01</b> クロララクニオン藻における葉緑体 DNA 配列の比較解析 ○鈴木 重勝 <sup>1</sup> ・小藤 累美子 <sup>2</sup> ・平川 泰久 <sup>1,2</sup> ・杉田 護 <sup>3</sup> ・石田 健一郎 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・院・生命環境, <sup>2</sup> 金沢大・院・自然科学, <sup>3</sup> 名古屋大・遺伝子)	
9:15	<b>A02</b> 北海道阿寒湖におけるマリモ生育状況の長期的な変遷と変動要因 若菜 勇 (釧路市教委マリモ研)	<b>B02</b> クロララクニオン藻 <i>Bigelowiella natans</i> における核分裂過程の微細構造観察 ○秋山 茉莉花・藤田 咲也・平川 泰久・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)	
9:30	<b>A03</b> マングローブに着生する緑藻シオグサ科植物の系統分類学的研究 ○市原 健介 <sup>1</sup> ・眞田 智 <sup>2</sup> ・宮地 和幸 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東邦大・理, <sup>2</sup> お茶大・院・生命科学)	<b>B03</b> クロララクニオン藻の二次葉緑体の分裂機構 ○平川 泰久・石田 健一郎 (筑波大・生命環境)	
9:45	<b>A04</b> スミレモ類に寄生する遊走子嚢型のアオサ藻綱 "マイフィー" の発見—その生活史と系統— ○半田 信司 <sup>1</sup> ・坪田 博美 <sup>2</sup> ・坪田 (中原) 美保 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 広島県環境保健協会, <sup>2</sup> 広島大・院・理, <sup>3</sup> 千葉中央博)	<b>B04</b> クロララクニオン藻 SRT040 株の分類学的研究 ○藤田 咲也・白鳥 峻志・石田 健一郎 (筑波大・院・生命環境)	
10:00–10:15	休憩		
10:15	<b>A05</b> 褐藻ワタモ遊泳細胞の前鞭毛と後鞭毛のプロテオーム解析 Fu Gang <sup>1</sup> ・岡 征子 <sup>2</sup> ・長里 千香子 <sup>3</sup> ・○本村 泰三 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 北大・環境, <sup>2</sup> 北大・創成, <sup>3</sup> 北大・北方セ)	<b>B05</b> I 新種の記載をとまなう <i>Aurantiochytrium</i> 属 (ラビリンチュラ類) の分類学的検討 ○土井 耕作 <sup>1</sup> ・松本 和樹 <sup>2</sup> ・鎌田 佳来 <sup>1</sup> ・上田 真由美 <sup>1</sup> ・本多大輔 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 甲南大・院・自然科学, <sup>2</sup> 甲南大・理工)	
10:30	<b>A06</b> RNA シークエンス解析による褐藻類の多細胞化関連遺伝子の網羅的解析 ○山岸 隆博 <sup>1</sup> ・D.G. Müller <sup>2</sup> ・川井 浩史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・内海域セ, <sup>2</sup> 独・コンスタンツ大)	<b>B06</b> 遊泳性灰色藻 <i>Cyanophora</i> 属の微細構造による種分類 ○高橋 紀之 <sup>1</sup> ・松崎 令 <sup>1</sup> ・川船 かおる <sup>1</sup> ・佐藤 繭子 <sup>2</sup> ・豊岡 公德 <sup>2</sup> ・川村 麻衣 <sup>3</sup> ・奥田 一雄 <sup>4</sup> ・野崎 久義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・理, <sup>2</sup> 理研・植物セ, <sup>3</sup> 高知大・理, <sup>4</sup> 高知大・院・黒潮圏)	
10:45	<b>A07</b> 生殖隔離に関わる性フェロモンのゲノムレベルでの特徴 ○土金 勇樹 <sup>1</sup> ・西山 智明 <sup>2</sup> ・関本 弘之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 日本女子大・理, <sup>2</sup> 金沢大・学際セ)	<b>B07</b> 超解像蛍光顕微鏡による珪藻被殻微細構造の観察 ○堀田 純一 <sup>1,2</sup> ・鈴木 志織 <sup>3</sup> ・遠藤 千夏 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 山形大・院・理工, <sup>2</sup> JST・さきがけ, <sup>3</sup> 山形大・工)	
11:00	<b>A08</b> シャジクモ藻類シャジクモ ( <i>Chara braunii</i> ) における <i>LEAFY</i> 遺伝子ホモログの発現解析 ○坂山 英俊 <sup>1</sup> ・山田 敏弘 <sup>2</sup> ・西山 智明 <sup>3</sup> ・川井 浩史 <sup>4</sup> ・伊藤 元己 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院・理, <sup>2</sup> 金沢大・理工, <sup>3</sup> 金沢大・学際セ, <sup>4</sup> 神戸大・内海域セ, <sup>5</sup> 東大・院・総合文化)	<b>B08</b> 海産珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> のブルーム期間における DNA/RNA ウイルスの出現パターン ○木村 圭 <sup>1,2</sup> ・外丸 裕司 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 瀬戸内水研, <sup>2</sup> JST)	
11:15–11:30	休憩		
11:30	<b>A09</b> ゲノム解読にもとづく単細胞紅藻チノリモ ( <i>Porphyridium purpureum</i> ) 葉緑体の大規模ゲノム再編成の可能性 ○田島 直幸 <sup>1,2</sup> ・佐藤 修正 <sup>3</sup> ・丸山 史人 <sup>4</sup> ・黒川 顕 <sup>2,5</sup> ・太田 啓之 <sup>2,6</sup> ・田畑 哲之 <sup>3</sup> ・関根 康介 <sup>1</sup> ・森山 崇 <sup>1,2</sup> ・佐藤 直樹 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・総合文化, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> かずさ DNA 研, <sup>4</sup> 東医歯大, <sup>5</sup> 東工大・院・生命理工, <sup>6</sup> 東工大・バイオセ)	<b>B09</b> ハプト藻類 <i>Chrysochromulina</i> sp. ミトコンドリアゲノムと転移性イントロンの進化 ○西村 祐貴 <sup>1</sup> ・神川 龍馬 <sup>1</sup> ・稲垣 祐司 <sup>1,2</sup> ・橋本 哲男 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・院・生命環境, <sup>2</sup> 筑波大・計算科学研究セ)	



- 11:45 **A10** 多核緑藻タンポヤリの分割細胞分裂の過程と特徴  
長谷部 有美<sup>1</sup>・関田 諭子<sup>2</sup>・奥田 一雄<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>高知大・理・生物, <sup>2</sup>高知大・院・黒潮圏)
- 12:00 **A11** 緑藻スジアオノリのミトコンドリア蛍光生体染色  
○峯 一朗<sup>1</sup>・中井 将愛<sup>2</sup>・西銘 浩子<sup>2</sup>・奥田 一雄<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>高知大・院・黒潮圏, <sup>2</sup>高知大・理・生物科学)
- 12:15 **A12** 緑藻アミミドロにおける新規液胞形成メカニズムの細胞形態学的解析  
○田中 学・幡野 恭子 (京大・院・人環)
- B10** 色素体獲得を可能にしたユーグレノイドによるクロロフィルの解毒代謝分解  
○柏山 祐一郎<sup>1,2</sup>・横山 亜紀子<sup>3</sup>・白鳥 峻志<sup>3</sup>・川口 明音<sup>3</sup>・中沢 昌美<sup>1,4</sup>・井上 勲<sup>3</sup>・民秋 均<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>JST・さきがけ, <sup>2</sup>立命館大・院・生命科学, <sup>3</sup>筑波大・院・生命環境, <sup>4</sup>大阪府大・生命環境)
- B11** プロティスト捕食活動の指標としてのシクロエノールの可能性を探る  
○横山 亜紀子<sup>1</sup>・柏山 祐一郎<sup>2,3</sup>・守屋 繁春<sup>4</sup>・民秋 均<sup>3</sup>・井上 勲<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>筑波大・生命環境, <sup>2</sup>JST・さきがけ, <sup>3</sup>立命館大・生命科学, <sup>4</sup>理研・基幹研)
- B12** 温泉シアノバクテリアマットにおけるクロロフィルの分布  
○大久保 智司・松本 翔吾・宮下 英明 (京大・院・人環)

12:30–13:30 昼休み

### 3月28日(木) 午後の部

A会場 (M12)		B会場 (N11)	
13:30	<b>A13</b> 褐藻 <i>Aureophycus aleuticus</i> (コンブ目) の新奇的な生殖器官と高次分類について ○川井 浩史 <sup>1</sup> ・羽生田 岳昭 <sup>1</sup> ・K. Holser <sup>2</sup> ・L.M. Ridgway <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・内海域セ, <sup>2</sup> St. George Is. Inst., <sup>3</sup> Oceanus Alaska)	<b>B13</b> 南アフリカ南部沿岸より分離したピラミモナスとネフロセルミス属について ○須田 彰一郎 <sup>1</sup> ・Bhuiyan, M.A.H. <sup>2</sup> ・Sym, S. <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 琉大・理, <sup>2</sup> 琉大・院・理工, <sup>3</sup> University of Witwatersrand)	
13:45	<b>A14</b> フタエモク幼体期の生態と伸長開始の trigger としての水温について ○吉田 吾郎 <sup>1</sup> ・鳥袋 博盛 <sup>1</sup> ・村瀬 昇 <sup>2</sup> ・崎山 和昭 <sup>2</sup> ・福田 紘士 <sup>3</sup> ・山田 和也 <sup>3</sup> ・荒武 久道 <sup>4</sup> ・八谷 光介 <sup>5</sup> ・樽谷 賢治 <sup>5</sup> ・吉村 拓 <sup>5</sup> ・清本 節夫 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 瀬戸内水研, <sup>2</sup> 水大校, <sup>3</sup> 宮崎水試, <sup>4</sup> 宮崎県庁, <sup>5</sup> 西水研)	<b>B14</b> 4細胞性初期多細胞体テトラバエナ (緑藻綱, ボルボックス目) の微細構造観察 ○新垣 陽子・豊岡 博子・野崎 久義 (東大・院・理・生物科学)	
14:00	<b>A15</b> 沼津市平沢地先における大型褐藻アントクメの季節的消長 ○秋田 晋吾 <sup>1</sup> ・小林 美樹 <sup>1</sup> ・伊藤 円 <sup>2</sup> ・山田 博一 <sup>2</sup> ・藤田 大介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋大・応用藻類, <sup>2</sup> 静岡水技研・伊豆分場)	<b>B15</b> 群体性ボルボックス目 <i>Gonium pectorale</i> のオルガネラゲノム 浜地 貴志 <sup>1</sup> ・Smith D.R. <sup>2</sup> ・野口 英樹 <sup>3</sup> ・豊田 敦 <sup>3</sup> ・鈴木 雅大 <sup>4</sup> ・豊岡 博子 <sup>4</sup> ・藤山 秋佐夫 <sup>3</sup> ・西井 一郎 <sup>5</sup> ・Marriage T. <sup>6</sup> ・Olson B.J.S.C. <sup>6</sup> ・野崎 久義 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 京大・理, <sup>2</sup> ブリティッシュコロンビア大, <sup>3</sup> 国遺研, <sup>4</sup> 東大・理, <sup>5</sup> テマセク研, <sup>6</sup> カンサス州大)	
14:15	<b>A16</b> 志津川湾のアラメ群落に対する津波と地盤沈下の影響 ○遠藤 光・青木 優和・青木 智也・木下 順二・堀越 彩香・吾妻 行雄 (東北大・院・農)	<b>B16</b> 貝類寄生虫パーキンサスのミトコンドリアゲノム解読 ○松崎 素道 <sup>1</sup> ・畑 昌幸 <sup>1</sup> ・増田 功 <sup>2</sup> ・北 潔 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・医・生物医化学, <sup>2</sup> Thomas Jefferson University)	
14:30–14:45		休憩	
14:45	<b>A17</b> 女川湾における海藻群落構造の空間的变化 ○鈴木 はるか・遠藤 光・堀越 彩香・青木 優和・吾妻 行雄 (東北大・農)	<b>B17</b> HaematoCalMorph: <i>Haematococcus pluvialis</i> のための多機能細胞画像処理ソフトウェア ○野上 誠・大貫 慎輔・大田 修平・渡邊 光一・河野 重行・大矢 禎一 (東大・院・新領域・先端生命)	
15:00	<b>A18</b> 東日本大震災による震源地近傍のアマモ群落への影響 ○村岡 大祐 <sup>1</sup> ・坂見 知子 <sup>1</sup> ・吉田 吾郎 <sup>2</sup> ・堀 正和 <sup>2</sup> ・鳥袋 寛盛 <sup>2</sup> ・山北 剛久 <sup>3</sup> ・玉置 仁 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東北水研, <sup>2</sup> 瀬戸内水研, <sup>3</sup> JAMSTEC, <sup>4</sup> 石巻専修大)	<b>B18</b> 渦鞭毛藻 <i>Symbiodinium minutum</i> ゲノムの解読 ○將口 栄一・新里 宙也・スタダ ムンパッディー・行者 蔭・小柳 亮・竹内 猛・久田 香奈子・田中 牧子・川島 武士・佐藤 矩行 (沖縄科学技術大学院大・マリンゲノミックス)	

- 15:15 **A19** 九州西岸の藻場と造礁サンゴ群集における両者の混生パターン  
○寺田 竜太・渡邊 裕基 (鹿大・水)
- B19** 上錐溝をもたない淡水産スエシア科渦鞭毛藻2種の形態と系統  
○高橋 和也<sup>1</sup>・岩滝 光儀<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形大・院・理工, <sup>2</sup>山形大・理・生物)
- 15:30 **A20** 大型藻類における生産性と耐久性のトレードオフ  
○坂西 芳彦<sup>1</sup>・駒澤 一朗<sup>2</sup>・田中 次郎<sup>3</sup> (<sup>1</sup>日水研, <sup>2</sup>東京大学島しょセ・八丈事業所, <sup>3</sup>海洋大・院・藻類)
- B20** 微細藻の研究と微細藻を使った研究  
石川 依久子 (理研)

16:00-17:00 **総会 (A会場 [M12])**

17:15 - 18:15 **ポスター発表 (奇数番号) (大学会館 多目的ホール&ラウンジ)**

- P01** 山形県沿岸漁港における小型ワカメの生態と室内培養  
○藤田 大介<sup>1</sup>・山岸 大<sup>1</sup>・小林 美樹<sup>1</sup>・高澤 俊英<sup>2</sup> (<sup>1</sup>海洋大・応用藻類, <sup>2</sup>山形水試)
- P03** 牡鹿半島において地盤沈下がアラメの加入・生残・成長に与えた影響  
青木 智也・青木 優和・遠藤 光・堀越 彩香・吾妻 行雄 (東北大・院・農)
- P05** 褐藻綱コンブ目カジメのマイクロサテライトによる集団構造解析  
○伊藤 知子<sup>1</sup>・菅野 愛美<sup>2</sup>・陶山 佳久<sup>2</sup>・神山 梓<sup>3</sup>・阪本 真吾<sup>4</sup>・木島 明博<sup>2</sup>・稲葉 一男<sup>5</sup>・青木 優和<sup>2</sup> (<sup>1</sup>新潟水研, <sup>2</sup>東北大・院・農, <sup>3</sup>女川町, <sup>4</sup>東大・大気海洋研, <sup>5</sup>筑波大・下田臨海セ)
- P07** 山口県柳井市沿岸におけるアマノリ類の分布  
○阿部 真比古<sup>1</sup>・村瀬 昇<sup>1</sup>・畑間 俊弘<sup>2</sup>・金井 大成<sup>2</sup> (<sup>1</sup>水大校, <sup>2</sup>山口水研)
- P09** Selection and characterization of a high-temperature-tolerant strain of *Pyropia yezoensis* (Bangiales, Rhodophyta)  
○Yan Xing-Hong<sup>1</sup>・Wang Hua-Zhi<sup>1</sup>・Aruga Yusho<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Shanghai Ocean University, China, <sup>2</sup>Nishikamata, Ota-ku, Toyko)
- P11** 佐渡島沿岸における水中の光環境と海草の生育限界水深との関係  
○坂西 芳彦・阿部 信一郎 (日水研)
- P13** 富士北麓、河口湖に生育する水生植物とその環境  
○渡邊 広樹<sup>1</sup>・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古<sup>1</sup> (<sup>1</sup>山梨大・院・教育)
- P15** 愛媛県で確認されたシャジクモ属 (*Chara*) について  
○藤原 陽一郎<sup>1</sup>・加藤 将<sup>2</sup>・坂山 英俊<sup>2</sup>・小林 真吾<sup>3</sup> (<sup>1</sup>愛媛生態系保全管理, <sup>2</sup>神戸大・院・理, <sup>3</sup>愛媛総合科博)
- P17** 国立環境研究所におけるシャジクモ類保存の取り組み  
○石本 美和<sup>1</sup>・森 史<sup>1</sup>・湯本 康盛<sup>1</sup>・坂山 英俊<sup>2</sup>・笠井 文絵<sup>3</sup>・河地 正伸<sup>3</sup> (<sup>1</sup>(財)地球/人間環境フォーラム, <sup>2</sup>神戸大・院・理・生物, <sup>3</sup>国環研)
- P19** 沖縄産緑藻サボテングサ属の一新種について  
○小島 玲<sup>1</sup>・羽生田 岳昭<sup>2</sup>・川井 浩史<sup>2</sup> (<sup>1</sup>神戸大・院・理・生物, <sup>2</sup>神戸大・内海域セ)
- P21** 小笠原近海の深所から得られた糸状褐藻について  
北山 太樹 (科博)
- P23** 北米大陸西岸に漂着した東日本大震災由来の大型漂着物に着生していた海藻類の種多様性  
Gayle I. Hansen<sup>1</sup>・羽生田 岳昭<sup>2</sup>・川井 浩史<sup>2</sup> (<sup>1</sup>オレゴン州立大, <sup>2</sup>神戸大・内海域セ)
- P25** 千葉県館山市坂田地先におけるヒジキの生育環境と季節消長  
○横地 和正・稲土 誠人・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)
- P27** 東京都および埼玉県における淡水産紅藻カワモズク属 *Batrachospermum* の分布と形態  
○林 直也・田中 次郎 (海洋大・藻類)
- P29** 国指定天然記念物「塩川」の大型藻類の生育状況  
○比嘉 敦<sup>1</sup>・岩永 洋志登<sup>1</sup>・山本 広美<sup>2</sup>・香村 眞徳<sup>3</sup> (<sup>1</sup>(株)沖縄環境分析センター, <sup>2</sup>(一財)沖縄美ら島財団, <sup>3</sup>琉球大)
- P31** 千葉県館山市坂田地先におけるタイドプールの海藻の分布と環境の季節変化  
○藤田 大介・稲土 誠人・横地 和正・今井 麻衣 (海洋大・応用藻類)
- P33** 環境省モニタリングサイト 1000 沿岸域調査で見られる主な海藻類のモニタリング指標としての評価  
○寺田 竜太<sup>1</sup>・川井 浩史<sup>2</sup>・倉島 彰<sup>3</sup>・坂西 芳彦<sup>4</sup>・田中 次郎<sup>5</sup>・村瀬 昇<sup>6</sup>・吉田 吾郎<sup>7</sup>・阿部 剛史<sup>8</sup>・北山 太樹<sup>9</sup> (<sup>1</sup>鹿大・水, <sup>2</sup>神戸大・内海域セ, <sup>3</sup>三重大・院・生資, <sup>4</sup>日水研, <sup>5</sup>海洋大・院・藻類, <sup>6</sup>水大校, <sup>7</sup>瀬戸内水研, <sup>8</sup>北大・博物館, <sup>9</sup>科博)
- P35** 褐藻シオミドロにおける鞭毛基部及び鞭毛の微細構造解析  
○木ノ下 菜々<sup>1</sup>・Fu gang<sup>1</sup>・伊藤 利章<sup>2</sup>・長里 千香子<sup>3</sup>・本村 泰三<sup>3</sup> (<sup>1</sup>北大・院・環境科学, <sup>2</sup>北大・農, <sup>3</sup>北大・北方セ)
- P37** 九州西岸の海藻・サンゴ混生群落に見られるホンダワラ類と造礁サンゴ数種の光合成特性  
○渡邊 裕基<sup>1</sup>・Gregory N. Nishihara<sup>2</sup>・寺田 竜太<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鹿大・水, <sup>2</sup>長大・院・水環・環東シナ海セ)
- P39** 長崎県大村湾より採取した海産スエシア科渦鞭毛藻1株の形態  
○高橋 和也<sup>1</sup>・皿井 千裕<sup>1</sup>・岩滝 光儀<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形大・院・理工, <sup>2</sup>山形大・理・生物)
- P41** クレプトクロロプラスト性無殻渦鞭毛藻クレードに属する従属栄養性渦鞭毛藻2種の分類と進化的位置づけ  
○大沼 亮・渡邊 邦彦・堀口 健雄 (北大・院・理・自然史)
- P43** サンゴ褐虫藻のクレード別モニタリング手法の開発  
○河地 正伸・出村 幹英・杉原 薫・山野 博哉 (国環研)



- P45** 東京湾産 *Melosira moniliformis* と *Pleurosira laevis* の天然での増大胞子形成  
○吉田 野空海<sup>1</sup>・鈴木 秀和<sup>1</sup>・南雲 保<sup>2</sup>・田中 次郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>海洋大・院・藻類, <sup>2</sup>日歯大・生物)
- P47** 海産羽状珪藻 *Cymatoneis* 属の殻微細構造について  
○松岡 孝典・南雲 保 (日歯大・生物)
- P49** 北海道沿岸域におけるラビリンチュラ類の分離  
○上田 真由美<sup>1</sup>・土井 耕作<sup>1</sup>・岩田 いづみ<sup>1</sup>・本多 大輔<sup>2</sup> (<sup>1</sup>甲南大・院・自然科学, <sup>2</sup>甲南大・理工・生物)
- P51** 藍藻 *Arthrospira platensis* (スピルリナ) の制限修飾系の解析  
○白石 英秋・田伏 洋介<sup>1</sup> (京大・院・生命, <sup>1</sup>現所属: (株) オルビス)
- P53** 霞ヶ浦環境 DNA の多様性解析  
○河地 正伸・山口 晴代・佐藤 真由美・出村 幹英 (国環研)
- P55** スミレモ類に寄生する遊走子嚢型のアオサ藻綱 "マイフィー" の微細構造  
○正田 いずみ<sup>1</sup>・半田 信司<sup>2</sup>・坪田 (中原) 美保<sup>3</sup>・坪田 博美<sup>1</sup> (<sup>1</sup>広島大・院・理, <sup>2</sup>広島県環境保健協会, <sup>3</sup>千葉中央博)
- P57** 無色鞭毛性緑藻類 (緑藻綱, オオヒゲマワリ目) および近縁種の酢酸利用  
○仲田 崇志<sup>1,2</sup>・川崎 悠里子<sup>2,3</sup>・富田 勝<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>慶大・政策メディア・先端生命, <sup>2</sup>慶大・先端生命研, <sup>3</sup>慶大・環境情報)
- P59** 畜産廃棄物を用いた微細藻類培養システムの有効利用法の探索  
五味 直哉・岡野 敦生・鶴飼 健真・御園生 拓 (山梨大・院・医工総合)

18:30-20:00 懇親会 (大学会館 食堂)

### 3月29日 (金) 午前の部

A 会場 (M12)		B 会場 (N11)	
9:00	<b>A21</b> haploid, diploid 藻体の相対的優位性について: 栄養環境適応仮説の数理的検証 ○別所 和博 <sup>1</sup> ・Troy Day <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 九州大・数理生物, <sup>2</sup> Queen's University Department of Mathematics and Statistics)	<b>B21</b> 日本における <i>Botryococcus braunii</i> の分布と遺伝的類縁関係から推定された分布拡散様式 ○出村 幹英 <sup>1,2</sup> ・河地 正伸 <sup>2</sup> ・渡邊 信 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・生命環境, <sup>2</sup> 国環研)	
9:15	<b>A22</b> 褐藻セイヨウハバノリ属藻類の分類学的再検討 ○松本 薫・鳥田 智 (お茶大・院・生命科学)	<b>B22</b> 重油生産藻類 <i>Botryococcus braunii</i> の rbcS 遺伝子全長クローニングとその特徴について ○神谷 麻梨 <sup>1</sup> ・榎本 ゆう子 <sup>2,3</sup> ・吉沼 春香 <sup>1</sup> ・榎本 武 <sup>1,3</sup> ・榎本 平 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・人間発達環境, <sup>2</sup> 神戸大・自然科学, <sup>3</sup> G&GT 社)	
9:30	<b>A23</b> 紅藻ナガガラガラ (ウミゾウメン目) における遺伝的構造の解析 ○栗原 暁 <sup>1</sup> ・羽生田 岳昭 <sup>1</sup> ・Carlos F. Gurgel <sup>2</sup> ・川井 浩史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・内海域セ, <sup>2</sup> University of Adelaide, Australia)	<b>B23</b> ボトリオコッカス <i>Botryococcus braunii</i> の改良株「榎本藻」の多糖類生産とその制御 ○榎本 平 <sup>1,2,3</sup> ・榎本 ゆう子 <sup>1,3</sup> ・神谷 麻梨 <sup>1</sup> ・吉沼 春香 <sup>1</sup> ・榎本 武 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・人間発達環境学, <sup>2</sup> 神戸大・自然科学, <sup>3</sup> G&GT 社)	
9:45	<b>A24</b> 北海道阿寒湖と静岡県青野川で採集した淡水産紅藻オオイシソウ属について ○鈴木 雅大 <sup>1</sup> ・野崎 久義 <sup>1</sup> ・北山 太樹 <sup>2</sup> ・若菜 勇 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院理, <sup>2</sup> 国立科博, <sup>3</sup> 釧路市教委マリモ研)	<b>B24</b> オイル産生緑藻 <i>Botryococcus braunii</i> と共生する細菌 "BOTRYKO" の多様性 ○田辺 雄彦 <sup>1</sup> ・吉田 昌樹 <sup>1</sup> ・岡崎 友輔 <sup>2</sup> ・中野 伸一 <sup>2</sup> ・渡邊 信 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・院・生命環境, <sup>2</sup> 京大・生態研)	
10:00-10:15	休憩		
10:15	<b>A25</b> 紅藻キブリティグサに対する褐藻ヨレモクの着生阻害機構 ○中嶋 登 <sup>1</sup> ・杉本 直樹 <sup>2</sup> ・吉川 伸哉 <sup>1</sup> ・大城 香 <sup>1</sup> ・神谷 充伸 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 福井県立大・海洋生物資源, <sup>2</sup> 国立医薬品食品衛生研)	<b>B25</b> クロレラ類 <i>Parachlorella kessleri</i> の重イオン照射の効果とデンブン・オイル蓄積の動態 松田 尚大 <sup>1</sup> ・三木 弥名子 <sup>1</sup> ・吉澤 有子 <sup>1</sup> ・風間 裕介 <sup>2</sup> ・阿部 知子 <sup>2,3</sup> ・大田 修平 <sup>1</sup> ・河野 重行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・新領域・先端生命, <sup>2</sup> 理研・イオンビーム育種研究チーム, <sup>3</sup> 理研・生物照射チーム)	
10:30	<b>A26</b> キレバモク (褐藻類ホンダワラ属) の形態変異について ○鯨坂 哲朗 <sup>1</sup> ・村瀬 昇 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大・農・院, <sup>2</sup> 水大校)	<b>B26</b> クロレラ 6 種 8 株の強光通気培養下のイオウ欠乏に対するオイルとデンブンの蓄積の動態 ○竹下 毅・山崎 誠和・大田 修平・河野 重行 (東大・院・新領域・先端生命)	

- 10:45 **A27** 褐藻アカモク (*Sargassum horneri*) の側枝形成パターンの解析  
 ○阿部 信一郎<sup>1</sup>・前田 陽一<sup>2</sup>・田中 次郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 日水研,  
<sup>2</sup> 海洋大・藻類)
- 11:00 **A28** 褐藻アカモク (*Sargassum horneri*) の地域的な形態変異  
 ○前田 陽一<sup>1</sup>・阿部 信一郎<sup>2</sup>・田中 次郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 海洋大・院・藻類,  
<sup>2</sup> 日水研)
- B27** シングルセル3次元立体構築法によって微細構造解析したヘマトコッカスとクロレラの物質蓄積動態  
 ○大田 修平<sup>1</sup>・南郷 脩史<sup>2</sup>・篠原 利香<sup>1</sup>・工藤 恭子<sup>1</sup>・平田 愛子<sup>1</sup>・河野 重行<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 東大・院・新領域,<sup>2</sup> ラトックシステムエンジニアリング (株))
- B28** *Chlamydomonas reinhardtii* (緑藻綱, オオヒゲマワリ目) の脂質組成に対する光量と有機栄養 (酢酸) の影響  
 ○新川 はるか<sup>1,2</sup>・仲田 崇志<sup>1,2</sup>・伊藤 卓朗<sup>1,2,3</sup>・池田 和貴<sup>1,2</sup>・曾我 朋義<sup>1,2</sup>・富田 勝<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup> 慶大・政策メディア・先端生命,<sup>2</sup> 慶大・先端生命研,<sup>3</sup> JST・さきかけ)

11:30–12:30 **ポスター発表 (偶数番号) (大学会館 多目的ホール&ラウンジ)**

- P02** ホソメコンブ配偶体の成熟に対する培養流速と栄養塩濃度の関係  
 ○秋野 秀樹・蔵田 護 (北海道中央水試)
- P04** 放浪アラメの移動と成長について  
 ○青木 優和・青木 智也・遠藤 光・堀越 彩香・吾妻 行雄 (東北大・院・農)
- P06** 紅藻エリモアマノリの分類学的再検討  
 ○菊地 則雄<sup>1</sup>・玉城 泉也<sup>2</sup>・藤吉 栄次<sup>2</sup>・小林 正裕<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 千葉海博,<sup>2</sup> 西水研)
- P08** 国内4地点由来のアサクサノリ葉状体の生長に対する温度と日長の影響  
 ○玉城 泉也・藤田 雄二・藤吉 栄次・小林 正裕 (西水研)
- P10** 隠岐郡海士町沿岸の海草類の分布  
 ○須田 昌宏・能登谷 正浩 (岡部 (株) 応用藻類学研)
- P12** 富士北麓, 精進湖に生育する水生植物とその環境  
 ○白澤 直敏<sup>1</sup>・渡邊 広樹<sup>2</sup>・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup> 山梨大・教育,<sup>2</sup> 山梨大・院・教育)
- P14** シャジクモ (*Chara braunii*) における EST-SSR マーカーの開発  
 ○加藤 将<sup>1</sup>・永野 萌<sup>2</sup>・嶋田 智<sup>2</sup>・川井 浩史<sup>3</sup>・坂山 英俊<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 神戸大・院・理・生物,<sup>2</sup> お茶大・院・生命科学,<sup>3</sup> 神戸大・内海域セ)
- P16** 高圧凍結および凍結置換法を用いた車軸藻 *Chara braunii* の精子形成過程の観察  
 ○中野 渉・林 八寿子 (新潟大・院・自然科学・環境科学)
- P18** スジアオノリの種分化研究—大規模グリーンタイドは何処からきたか?—  
 ○平岡 雅規<sup>1</sup>・市原 健介<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 高知大・総研セ海洋,<sup>2</sup> 東邦大・理)
- P20** 地衣類 *Herpothallon* sp. から単離されたスミレモ類 *Printzina lagenifera* の形態と系統  
 ○溝淵 綾<sup>1</sup>・半田 信司<sup>1</sup>・坪田 (中原) 美保<sup>2</sup>・坪田 博美<sup>3</sup> (<sup>1</sup> 広島環境保健協会,<sup>2</sup> 千葉中央博,<sup>3</sup> 広島大・院・理)
- P22** 紅藻カギケノリ (カギケノリ目) の系統地理学的研究  
 堀口 範奈<sup>1</sup>・栗原 暁<sup>2</sup>・羽生田 岳昭<sup>2</sup>・川井 浩史<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 神戸大・理・生物,<sup>2</sup> 神戸大・内海域セ)
- P24** 静岡県御前崎地先に生育するミル *Codium fragile* の藻体と小囊の季節変化  
 ○牧田 篤弥<sup>1</sup>・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 山梨大・院・教育)
- P26** カラー海藻図鑑を用いた日本産海産紅藻の体色の変遷および地理的差異の検討  
 ○小林 美樹・藤田 大介 (海洋大・応用藻類)
- P28** 山梨県に生育するシオグサ目藻類について  
 ○芹澤 如比古<sup>1</sup>・藤澤 ひかる<sup>1</sup>・渋谷 里夏<sup>1</sup>・芹澤 (松山) 和世 (<sup>1</sup> 山梨大・教育)
- P30** 駿河湾西岸, 南部の地頭方と中部の大崩近傍の海藻相と温度環境の長期的比較  
 ○金原 昂平<sup>1</sup>・米谷 雅俊<sup>2</sup>・芹澤 (松山) 和世・芹澤 如比古<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup> 山梨大・教育,<sup>2</sup> 山梨大・院・教育)
- P32** 瀬戸内海広島湾の石積み護岸マウンド上における海産植物相の変遷  
 ○鳥袋 寛盛<sup>1</sup>・吉田 吾郎<sup>1</sup>・三浦 俊一<sup>2</sup>・梶田 淳<sup>2</sup>・寺脇 利信<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 瀬戸内水研,<sup>2</sup> 水圏リサーチ)
- P34** 高知県における漁業者主体の磯焼け対策による藻場再生状況とその評価  
 ○田井野 清也<sup>1</sup>・山下 慶太郎<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 高知水試,<sup>2</sup> 高知漁業振興課)
- P36** 日本およびタイ産テングサ類数種の光合成特性  
 ○藤本 みどり<sup>1</sup>・Gregory N. Nishihara<sup>2</sup>・寺田 竜太<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 鹿大・水,<sup>2</sup> 長大・院・水環・環東シナ海セ)
- P38** 褐藻ヒジキの遊離アミノ酸含量の測定  
 ○倉島 彰<sup>1</sup>・棚橋 智子<sup>2</sup>・矢野 竹男<sup>2</sup>・前川 行幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 三重大・院・生物資源,<sup>2</sup> 三重大・院・地域イノベーション)
- P40** *Cryptocodium* spp. isolated from Okinawa Prefecture  
 ○Danang Ambar Prabowo<sup>1</sup>・Oushi Hiraishi<sup>2</sup>・Shoichiro Suda<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 琉大・院・理工,<sup>2</sup> 琉大・理)
- P42** 石狩産海岸砂地性従属栄養渦鞭毛藻類の分類学的研究 II  
 渡邊 邦彦・堀口 健雄 (北大・院・理・自然史)
- P44** 祖先的な光合成性ユーグレナ藻であるユートレプシア目の分子系統解析  
 ○川口 明音<sup>1</sup>・白鳥 峻志<sup>1</sup>・雪吹 直史<sup>2</sup>・Brian S. Leander<sup>2</sup>・中山 剛<sup>3</sup> (<sup>1</sup> 筑波大・院・生命環境,<sup>2</sup> Department of Botany, University of British Columbia,<sup>3</sup> 筑波大・生命環境)

- P46** 千葉県館山産褐藻ホンダワラ類に付着する珪藻類  
 ○宮内 麻由美<sup>1</sup>・鈴木 秀和<sup>1</sup>・南雲 保<sup>2</sup>・田中 次郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>海洋大・藻類, <sup>2</sup>日歯大・生物)
- P48** 海産有縦溝珪藻 *Nitzschia cf. reversa* に感染する新規 RNA ウイルスについて  
 ○豊田 健介<sup>1</sup>・長田 敬五<sup>2</sup> (<sup>1</sup>慶大・生物, <sup>2</sup>日歯大・新潟生物)
- P50** 外洋調査航海におけるラビリンチュラ類の分離  
 ○上田 真由美<sup>1</sup>・岩田 いづみ<sup>1</sup>・木村 浩之<sup>2</sup>・本多 大輔<sup>3</sup> (<sup>1</sup>甲南大・院・自然科学, <sup>2</sup>静岡大・理・地球科学, <sup>3</sup>甲南大・理工・生物)
- P52** *Arthrospira (Spirulina) platensis* NIES-39 の遺伝子組換え技術の開発にむけて  
 ○豊島 正和<sup>1,3</sup>・山岸 隆博<sup>1,3</sup>・近藤 昭彦<sup>2,3</sup>・川井 浩史<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>神戸大・内海域セ, <sup>2</sup>神戸大・工, <sup>3</sup>JST・CREST)
- P54** リアルタイム PCR を用いた東京湾堆積物中の *Chattonella marina* 存在量推定  
 ○出村 幹英<sup>1,2</sup>・河地 正伸<sup>2</sup>・小林 広茂<sup>3</sup>・横山 智子<sup>3</sup>・山田 佳昭<sup>4</sup> (<sup>1</sup>筑波大・生命環境, <sup>2</sup>国環研, <sup>3</sup>千葉環研セ, <sup>4</sup>神奈川水技セ)
- P56** LSC を用いたスペクトル変換光の藻類培養への適用  
 ○渡部 純一<sup>1</sup>・渡邊 康之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>諏訪東京理科大・院・工学マネジメント, <sup>2</sup>諏訪東京理科大・システム工学)
- P58** 微細藻類 *Nannochloropsis* 属 2 株によるオイル生産と脂肪酸組成分析  
 ○遅 永雪<sup>1</sup>・陳 峰<sup>2</sup>・滝口 泰之<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉工業大, <sup>2</sup>メリーランド大)
- P60** 国立環境研究所における NBRP 藻類リソース整備の現状  
 ○志村 遥平・河地 正伸 (国環研)

12:30-14:00 昼休み&後片付け

### 3月29日(金) 午後の部

14:00-18:00 エクスカーション



精進湖湖畔からの「子抱き富士」の眺望 2012年11月